

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

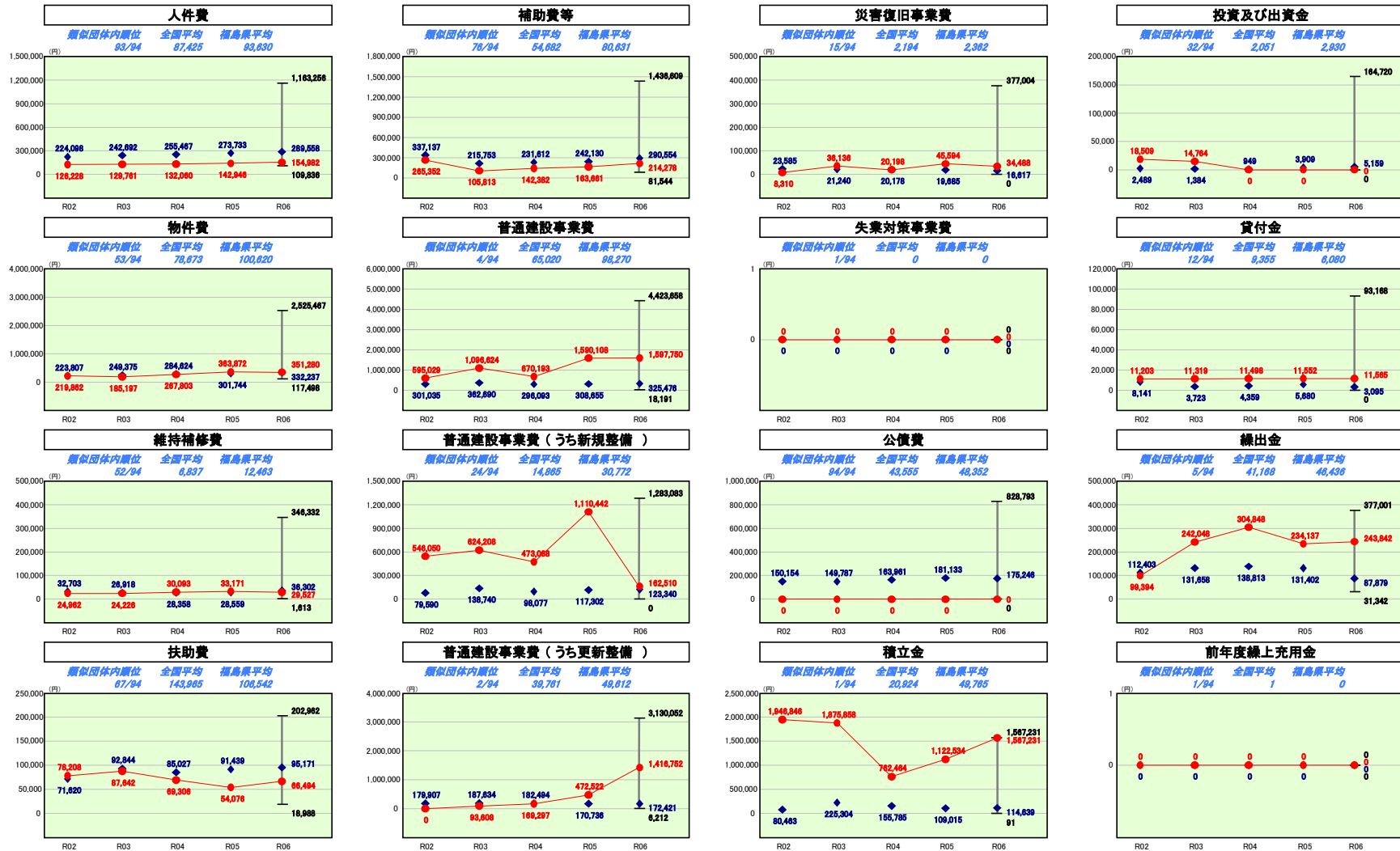
令和6年度

福島県大熊町

人口	9,944人(7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	9,884人(7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%	
面積	78.71km <sup>2</sup>	実収公債比率	-1.0	%	
歳入総額	48,996,247千円	特長負担比率	-	%	
歳出総額	42,475,175千円	市町村類型	R02 I-0	R03 I-2	R04 I-2
実収収支	334,739千円	(年度毎)	R05 I-2	R06 I-2	
標準財政規模	6,882,576千円				
地方債現在高	0千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析

住民一人当たりのコストは4,271,417円となり、前年度と比較して509,766円増となった。これは積立金が前年度比444,697円増となったことが主な要因である。  
 また、全国平均と比較し、普通建設事業費および積立金が非常に高い水準となっているが、これは復興事業による公共施設やインフラの整備、また特定目的基金への積立等が増加したことが要因である。  
 今後とも同項目においては、町復興計画に基づく事業が予定されていることから、当面の間、類似団体よりも高い水準で推移すると見込んでいる。